

全木連時報

7月25日(月曜日)
(第640号) (毎月25日発行)
平成23年(2011年)

発行所
社団法人 **全国木材組合連合会**
編集長 尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。

J A S 製材品普及推進展示会

全国6会場で実施

平成二十三年度のJ A S 製材品普及推進展示会(農林水産祭参加行事)は、別表の日程で開催することとなった(一部既報)。展示会を通じ、J A S 製材品の流通の拡大と普及を図り、また製品品質の改善、生産技術の向上・合理化、取引の単純公正化及び消費の合理化を進めることが開催の趣旨。

主催は、全国木材組合連合会、全日本木材市場連盟、全国木材市売買方組合連盟の共催。全木連は特に、都府県木連へ開

催日時の通知と出荷要請を行う。市場地域の都府県木連に対しては、都府県木連から認定工場へ、各会場への出荷方法等を具体的に記載したものを添付し強く出荷要請をする。このほか、ホームページと業界紙に、J A S 展の開催案内と出荷方法等必要なものを掲載し広く周知する。

一、開催目的

J A S 製材品は、品質・性能が保証されたものであり、建築・設計等の需要者ニーズに対応した信

頼される製材品である。このようなJ A S 製材品の普及を図るためJ A S 製材品普及推進展示会を開催し、J A S 製材品の流通の拡大と普及を図り、もって製品品質の改善、生産技術の向上・合理化、取引の単純公正化及び消費の合理化を進めることとする。

二、主催者
全国木材組合連合会、全日本木材市場連盟、全国木材市売買方組合連盟の共催とする。

三、後援

農林水産省消費・安全局、林野庁、開催地の都道府県の予定

四、協賛

全国木材検査・研究協会、開催地区関係団体

五、実施事項

①三大都市圏及び主たる地方都市における市場で、J A S 製材品普及推進展示会を開催し、当該製品の展示を行う。

②開催の各木材市場は、特定日を定めてJ A S 製材品の展示・即売会を行う。

③主催者は、農林水産祭参加の

趣旨の理解を深めること及び積極的に出品するよう各団体傘下の事業所に対して十分周知徹底する。

④開催の各木材市場は、関係都道府県木連と協調し、J A S 製材品の集荷及び展示に努める。

⑤実行委員会等の設置等

展示会を円滑、かつ、効果のあるように推進するため、関係業界団体及び関係木材市場の担当者を委員とし、また、関係行政機関の担当者をオブザーバーとして委員会を設置し、次の事項を行う。①展示会の運営方法等について協議決定する②展示会出品者の表彰に係る総合調整を行う③審査委員会委員の人選を行う。

七、審査結果の公表等
別に定める審査要領に基づき、審査した結果により入賞者の公表を行う。

八、賞状の授与
賞は、農林水産大臣賞、農林水産省消費・安全局長賞、林野庁長官賞、全国木材組合連合会会長賞、全日本木材市場連盟会長賞、全国木材市売買方組合連盟会長賞を授与する。

九、展示会場(四面別表)

第二次補正予算案閣議決定

東日本大震災関連対策

七月五日に、東日本大震災被害復旧のための第二次補正予算案が閣議決定された。総額は約二兆円で森林・木材産業等に関連するものは、木質系震災廃棄物等を活用し、持続的かつ安定的にエネルギーを供給する可能性の調査に一億

円、森林内における放射性物質の分布状況等に関する調査に二億円、また、中小企業対策として中小企業等のグループの施設復旧・整備の支援に一百億円(一次補正の拡充)、再生企業に対する利子補給一八四億円など。

目次

一面 J A S 製材品展示会を全国六会場で実施

二面 中型グループ共済の加入拡充を

三面 主要建設資材需要見通し

四面 景況調査 今年のポスター

中型グループ共済の加入拡充を

全木協連が運営する中型グループ共済は、傘下事業所役員、従業員の業務上、業務外の事故を幅広く保障する生命共済保険。開始以来三十七年を迎えた。全木協連では共済事業は事業の中核であり、今年度重点的に加入推進にあたることにしている。

割安な掛金で 大きな保障

この制度の特徴は、割安な掛金で大きな保障が得られること、簡単な手続きで加入できること、一年更新のため経済情勢にあわせ必要な保障額を選べること、掛金は損金または必要経費に参入できることなど。

掛金は45歳男性なら 月額486円

掛金は男性、女性とも三十五歳以下は一定、その後年齢に応じ五歳ごとに掛金が変わる。たとえば、男性四十五歳であれば、掛金は月額四百八十六円で、保障内容は不慮の事故により入院した場合は、一日につき千六百五十円の入院給付金、病气死亡のとき百十萬円の死亡保険金が保証される。十四歳六カ月超七十歳六カ月以下の方が

◎保障内容

型	I型	II型	III型	IV型	V型
① 不慮の事故による死亡・高度障害のとき (死亡・高度障害保険金+災害保険金(障害給付金)) ※うち災害保険金(障害給付金)	2,000万円 ※1,000万円	1,400万円 ※700万円	1,100万円 ※550万円	660万円 ※330万円	220万円 ※110万円
② 病気による死亡・高度障害のとき (死亡・高度障害保険金)	1,000万円	700万円	550万円	330万円	110万円
③ 不慮の事故で障害状態にられたとき (障害給付金第2級～第6級)	程度により 700～100万円	程度により 490～70万円	程度により 385～55万円	程度により 231～33万円	程度により 77～11万円
④ 不慮の事故で5日以上入院されたとき (120日限度) (入院給付金)	1日につき 15,000円	1日につき 10,500円	1日につき 8,250円	1日につき 4,950円	1日につき 1,650円

こんな場合に
お役に立ちます

◎月額掛金

型		I型	II型	III型	IV型	V型
加入年齢	性別					
15～35歳	男性	3,520	2,464	1,936	1,161	387
	女性	2,950	2,065	1,623	974	325
36～40歳	男性	3,890	2,723	2,140	1,284	428
	女性	3,400	2,380	1,871	1,122	374
41～45歳	男性	4,420	3,094	2,431	1,458	486
	女性	3,670	2,569	2,019	1,211	404
46～50歳	男性	5,360	3,752	2,948	1,769	589
	女性	4,190	2,933	2,305	1,383	461
51～55歳	男性	6,830	4,781	3,757	2,254	751
	女性	4,900	3,430	2,696	1,617	539
56～60歳	男性	8,820	6,174	4,851	2,910	970
	女性	5,490	3,843	3,020	1,812	604
61～65歳	男性	11,790	8,253	6,485	3,891	1,297
	女性	6,690	4,683	3,680	2,208	736
66～70歳	男性	—	—	—	—	1,966
	女性	—	—	—	—	995
型	性別	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳
V型 (更新される方のみ)	男性	2,547	2,774	3,024	3,306	3,632
	女性	1,229	1,337	1,460	1,603	1,768

■ 貸付制度の概要

● 中小企業等対象 (東日本大震災復興特別貸付)

	東日本大震災災害復旧資金	東日本大震災セーフティネット資金
対象者	事業所、事業用資産、生産設備、在庫等に被害を受けた方、原子力発電所事故に係る警戒区域等内の方 いわゆる「直接被害者」	直接被害者と相応の取引(販売・仕入)があり、その影響で売上が減少している方 いわゆる「間接被害者」
資金使途	既存事業設備の復旧等のために必要な設備資金 在庫品の損壊・流失の補てん、生産・営業設備の補修等により必要となる運転資金 等	震災により売上減少等の影響がある方(風評被害等を受けた「二次被害者」)に加え、直接被害者・間接被害者も対象)
適用利率	短期資金：短期プライムレート 長期資金：基準利率	同左
貸出期間(据置期間)	設備：20年以内(据置5年以内) 運転：15年以内(据置5年以内)	設備：15年以内(据置3年以内) 運転：15年以内(据置3年以内)
貸出限度	残高3億円以内(組合は残高9億円以内)	残高7億2千万円以内

① 貸付利率の実質的な引下げ(当貸付制度の概要(別表))

② 貸付期間の長期化(最長二十年間、据置期間は最長五年間を確保)

③ 貸出期間の長期化(最長二十年間、据置期間は最長五年間を確保)

この貸付は次の三つの特長を掲げている。

① 貸付利率の実質的な引下げ(当貸付制度の概要(別表))

② 貸付期間の長期化(最長二十年間、据置期間は最長五年間を確保)

③ 貸出期間の長期化(最長二十年間、据置期間は最長五年間を確保)

● 商工中金の東日本大震災復興特別貸付 ●

▼ 二十六歳男性。工場でフォークリフトと木材の間に挟まれ、足を骨折。入院給付金を給付。

▼ 二十九歳男性。スキーの間に骨折。入院給付金給付。

▼ 四十九歳男性。トラックに荷物の積み込み中、足を滑らせてトラックの荷台から転落。入院給付金を給付。

商工中金では平成二十年から危機対応業務(損害担保貸付、リースステップローン)を行っており、今回の東日本大震災についても、中小企業向け貸出が実施されているので、紹介する。

初三年間最大一・四%の利子補給

② 貸付限度額の拡充(東日本大震災災害復旧資金Ⅱ三億円 東日本大震災セーフティネット資金Ⅱ七億二千万円)

おしらせ

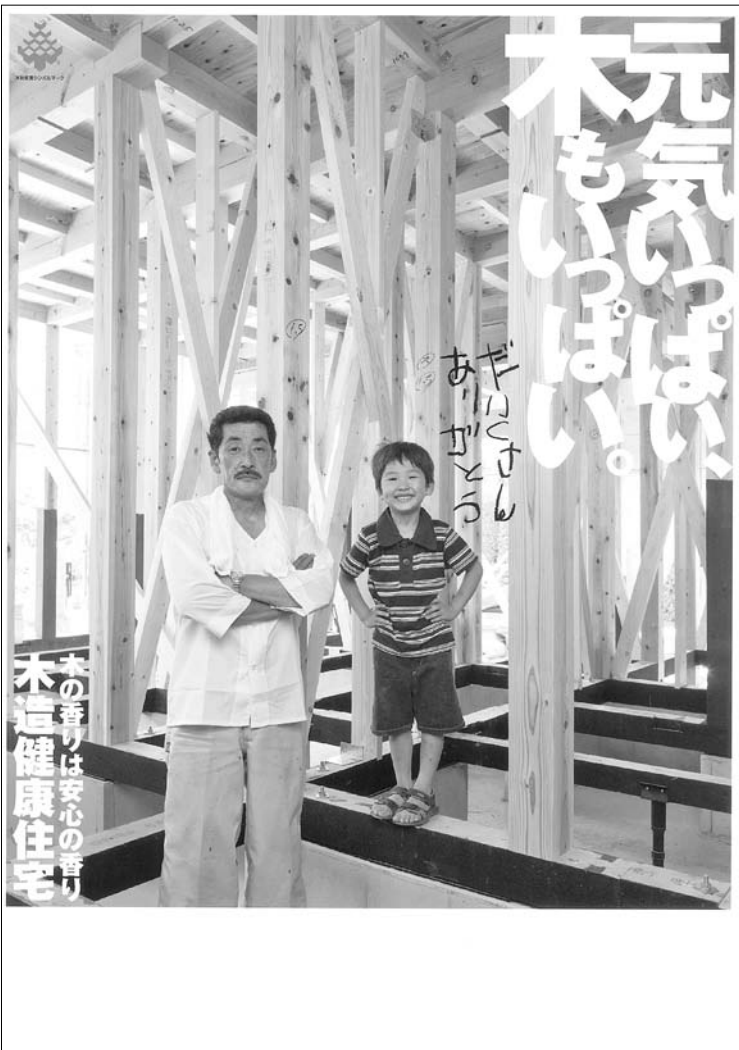
経済センサスの実施

総務省、経済産業省は、平成二〇二三年を対象とした「平成二十四年経済センサス活動調査」を実施する。

平成23年版

木材PRポスターが完成

今年の木材PR用ポスターが完成した。今年のテーマは、「健康」の木造住宅を訴える内容となっている。住宅購入層を対象に、現代人の関心の高い「健康」を強調した。また、時勢に対応して見てい



経済センサスは、我が国における産業構造を包括的に明らかにすることを目的とするもので、統計法に基づくもの。

平成23年度主要建設資材 需要見通し

木材は前年度比横ばい

国土交通省が公表した「平成二十三年度主要建設資材需要見通し」によると、セメントなどの他の資材が前年度比で増加する中で、木材は、前年度比変わらずの九百五十万㎡と見通されている。これは、住宅における木材使用量の減少が見込まれているため。

支社等を有する企業本社には六月中旬から事業所確認が行われる。

主要建設資材需要見通しについては、同省の「平成二十三年度建設投資見通し」が前年度比五・一%の増加で、うち政府建設投資は八・四%の増加、民間建設投資は二・九%の増加と見通されていることによる。

検査員研修会を開催

全木検

全国木材検査・研究協会(全木検)は、認定業務にあたる検査員養成のため、六月九日・十日の両日に、東京の森林技術会館で製材等に、東京の森林技術会館で製材等に、検査員資格者研修会を開催した。各県木連所属の資格取得希望者十四名が受講し、JAS法、JAS規格、品質管理の実際及び検査実務等の内容を学んだ。受講者は資格を取ったうえで、認定工場制度における検査業務を行うこととなる。

資材名称	単位	需 要 量			伸び率		
		H21年度実績値	H22年度実績値	H23年度見通し	22 / 21	23 / 22	
セメント	万t	4,273	4,161	4,400	-2.6%	5.7%	
生コンクリート	万㎡	8,603	8,528	9,100	-0.9%	6.7%	
骨 材	万㎡	24,375	24,267	25,900	-0.4%	6.7%	
	砕 石	万㎡	11,869	11,703	12,200	-1.4%	4.2%
木 材	万㎡	928	950	950	2.3%	0.0%	
普通鋼銅材	万t	1,738	1,847	1,840	6.3%	-0.4%	
	形 鋼	万t	370	379	390	2.6%	2.9%
	小形棒鋼	万t	736	745	750	1.2%	0.7%
アスファルト	万t	230	180	225	-22.0%	25.2%	

景況調査＝全木協

23年6月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数85 回答数55 回収率65%

当月の状況

販売量	増加40% (22)	変わらず31% (17)	減少29% (16)
仕入量	増加40% (22)	変わらず35% (19)	減少25% (14)
販売価格	上昇11% (6)	変わらず82% (45)	下降7% (4)
仕入価格	上昇27% (15)	変わらず68% (37)	下降5% (3)

来月の見通し

販売量	増加38% (21)	変わらず44% (24)	減少18% (10)
仕入量	増加29% (16)	変わらず51% (28)	減少20% (11)
販売価格	上昇5% (3)	変わらず86% (47)	下降9% (5)
仕入価格	上昇16% (9)	変わらず75% (41)	下降9% (5)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	13% (6)	72% (34)	15% (7)
南洋材	23% (10)	58% (25)	19% (8)
北洋材	20% (9)	69% (30)	11% (5)
国産材	16% (8)	60% (30)	24% (12)
建材	32% (14)	45% (20)	23% (10)

乾燥材取引の頻度	増加 12% (6)	変わらず 86% (44)	減少 2% (1)
----------	---------------	------------------	--------------

〔製造部門〕

モニター数108 回答数61 回収率56%

当月の状況

販売量	増加28% (17)	変わらず42% (26)	減少30% (18)
仕入量	増加23% (14)	変わらず42% (26)	減少35% (21)
販売価格	上昇8% (5)	変わらず66% (40)	下降26% (16)
仕入価格	上昇11% (7)	変わらず56% (34)	下降33% (20)

来月の見通し

販売量	増加41% (25)	変わらず36% (22)	減少23% (14)
仕入量	増加26% (16)	変わらず53% (32)	減少21% (13)
販売価格	上昇7% (4)	変わらず70% (43)	下降23% (14)
仕入価格	上昇10% (6)	変わらず70% (43)	下降20% (12)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	36% (9)	60% (15)	4% (1)
南洋材	45% (9)	55% (11)	0% (0)
北洋材	47% (9)	42% (8)	11% (2)
国産材	24% (12)	52% (25)	24% (12)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 84% (10)	1ヵ月 8% (1)	1ヵ月以上 8% (1)
---------------	-------------------	---------------	-----------------

JAS 製材品普及推進展示会

展示会場

審査予定月日 展示予定月日	予 定 会 場		目標展示 数 量
8月3日(水) 8月4日(木)	関東・東北	東京木材市場株式会社	1,000 m ³
9月7日(水) 9月8日(木)	中国・四国	株式会社津山総合木材市場	1,000 m ³
9月8日(木) 9月9日(金)	東海・北陸	株式会社東海木材相互市場 大口市場	1,000 m ³
10月5日(水) 10月6日(木)	関東・東北	丸宇木材市売株式会社 北浜市場	1,000 m ³
10月18日(火) 10月19日(水)	東海・近畿	ウッドピア市売協同組合	1,000 m ³
11月22日(火) 11月28日(月)	九州	株式会社伊万里木材市場	1,000 m ³

『東日本大震災復旧緊急保証』
の受付が始まりました。

この度の東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

震災による復旧のための緊急保証として、他の資金とは別に基金から100%保証が受けられます。

- ◎ 地震・津波により直接罹災された方の復旧に必要な運転資金・設備資金
 - ◎ 主要販売先などの罹災により間接的に被害を受けた方に係る資金繰り安定化のために必要な運転資金
 - ◎ 震災復興に係る仮設住宅など資材供給の円滑化のために必要な運転資金・設備資金
- 詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コープビル11階)
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: <http://www.affcf.com>

